



吹田市総合防災センター (DRC Suita)が完成

2月3日、阪急南千里駅前に吹田市総合防災センター(DRC Suita)※(Disaster Reduction Center Suita)の開設を記念して、式典を行いました。この施設は北消防署と高度救助隊、北摂5市2町を管轄する北大阪消防指令センターの消防機能のほか、土木部と教育センターの機能を有する複合施設です。また、大規模な災

害時には、市の災害対策本部と連動する市北部の災害活動拠点となります。式典では後藤市長や野田議長などによるテープカットが行われたほか、消防音楽隊による演奏や救助隊による救助訓練が披露されました。消防機能は3月8日(金)から、土木部と教育センターは4月1日(月)から運用を開始していきます。



完成記念式典の様子



救助訓練の様子



寄贈されたグローブ

大谷翔平選手から 野球グローブが届く

MLBのロサンゼルス・ドジャースに所属する大谷選手が全国の小学校に寄贈した野球グローブが、教育委員会に届きました。届いたのは大きさの違う3個が1セットになったもので、うち1個は左利き用のグローブです。それぞれのグローブには「野球しようぜ!」と大谷選手のメッセージが添えられていました。グローブは市立小学校全36校に各1セットを配付しました。



市長コラム No.102

こもれび通り

後藤圭二

吹田市をやってます



コラムの音声版はこちら

「社会に役立つ仕事ねえ…そんなお仕事って楽しいですか?」まさに意表を突かれるコメント。

市の水道部職員だったころ、ある大学の文化人類学研究室に招かれました。「私はライフラインである水道事業に携わっています」と自己紹介した直後に受けた教授からのコメントでした。彼らは、自分の研究分野を説明する際に、「私はブータンをやってます」というような特有の表現を使います。その妙な日本語が交わされる空間で、教授からの問いかけに正直私は少しムッとしました。

その帰途、教授の言葉を反すうしつつ、ぼんやり車窓を眺めていました。世のため、人のために日々働く人たち。一方で、世の役に立つかどうか

ではなく「知りたい」という動機で、真実を追求める探求者。この両者、互いに「そんな役にも立たないことを」「そんなことして楽しいですか?」と。

社会は一人ひとりの集合体です。役に立つかないか、楽しいかどうか。自分には理解できない価値観をも尊重し合える社会で暮らしたいものです。

月の満ち欠けと魚の繁殖行動との不思議な関係を明かすべく、沖縄の海に潜り続けた学生時代。当時の私の研究も、まあ世の役に立たないものでしたねえ。そんな私が今、「市民のお役に立つこと」を日々追いかけており、人のお役に立てる仕事のやりがい、楽しさを実感しているのです。